

# 西根川上流地区治山事業全体計画調査検討委員会

## 【第2回検討委員会 概要】

日時:令和3年7月8日(木)13:30~16:30

場所:オンライン会議(関東森林管理局会議室等)

### 議事進行内容

- (1) 開会
- (2) 挨拶  
関東森林管理局 計画保全部長  
関東森林管理局 会津森林管理署南会津支署長
- (3) 検討委員会趣旨説明  
関東森林管理局 会津森林管理署南会津支署長
- (4) 出席者紹介
- (5) 座長選任
- (6) 座長挨拶
- (7) 議事
  1. これまでの経緯
  2. レーザー計測の差分を含めた解析結果と崩壊地の拡大要因
  3. 解析結果を踏まえた全体計画の再検討方針の確認
  4. 今後の事業についての確認
  5. その他
  6. 討議及び各委員からの意見
- (8) 閉会

検討会出席者 別紙1\_出席者名簿のとおり



検討会(オンライン会議(関東森林管理局会場))の状況

### 【委員からの意見】

- 今年度に施工予定の航空実播工について、土壌藻類は現地に存在する種を用いるのが望ましい。また、そういった工法の実績も教えて頂きたい。
- 工事や調査の際は猛禽類対策を慎重にお願いしたい。
- 今年度に行う予定の、ヘリコプターによる袋詰玉石工については、効果はかなり限定的かもしれないが、長期的に見て工事が必要だということを地元の人々にきちんと伝える方が良い。
- 令和3年度以降、崩壊地や細木沢に対する恒久的な対策の第一歩であるアクセス方法(ルート)の検討について、どれだけそのルートで伐開しなければならないか、という環境負荷という面で見ても西根川資材運搬路のほうが望ましいのではないか。
- 今回上流部にダムを一つ造るという計画があるが、溪流の連続性や生物相の移動への阻害が少なく、自由に水が流れ土砂もある程度流れるようなスリットダムを造って頂きたい。

### 【オブザーバからの意見】

- 国立公園内での袋詰玉石工は工作物の設置ということになる。基本的に第一種特別地域の中での治山工事の他事例等も踏まえると、引き続き協議を進めていきたい。航空実播については、藻類なので植物には該当しないと認識しているが、こちらについては法令上の扱いの手続きが発生しないか確認する必要がある。緑化指針には、緑化工等を行う場合に周辺の環境負荷を考慮して行う旨の記述があるため、田代山湿原などに対する影響について配慮し行って頂きたい。
- 下流域の岩風呂は令和元年の台風19号で被害を受けた。先日2年ぶりに建屋を再建し復旧した。しかし、大雨のたびに、またその建屋が流されるのではないかと住民の間では心配が消えていない。温泉付近の河床がかなり上がっており、土砂撤去等、今後の対策に期待しているので、宜しくお願いしたい。
- 県としても下流の方、県管理区間の砂防施設の配置検討業務を今進めている。今回の調査資料を我々の検討業務の参考にさせて頂きたいと考えている。また県としては、土砂撤去をこれから進めていく予定。上流の崩壊地からの大量の土砂供給により岩風呂や伊南川の鮎をはじめ、下流の只見町、さらに下流の金山町の各発電ダムにも土砂が到達し、毎年10万m<sup>3</sup>の土砂の浚渫を行っているという話も聞いている。全てが田代山の土砂では無いが田代山の具体的な法面の対策、それから土砂流出対策をお願いしたい。